

# 第1 平成15年度気象庁関係予算概算要求総括表

(単位：百万円)

区 分	前 年 度 予 算 額	1 5 年 度 要 求 額	対前年度比	摘 要
	(A)	(B)	(B/A)	
一 般 会 計	④ 4,975 63,618	④ 50 66,492	1.05	④は国庫債務負担行為を示す。
(内 訳)				
物 件 費	④ 4,975 23,291	④ 50 25,653	1.10	
主 要 事 項	④ 4,975 4,003	④ 50 6,031	1.51	
一 般 事 項	19,288	19,622	1.02	
人 件 費	40,326	40,839	1.01	
特 別 会 計				
空港整備特別会計	10,410	④ 3 10,555	1.01	
合 計	④ 4,975 74,028	④ 53 77,047	1.04	

(注)端数処理のため計算が合わない場合がある。

## 第2 主要事項の概要

### 1. 台風・豪雨等観測予報業務の強化

大規模自然災害に対する迅速な防災体制を確立するため、官邸との連携強化、ネットワーク等の高度化及びナウキャスト防災気象情報の開発等を推進する。

また、台風や集中豪雨等の気象現象を迅速かつ的確に把握し、大雨警報等の防災情報の充実・高度化を図るため、次期静止気象衛星(運輸多目的衛星)の整備等を行う。

### 2. 地震対策の強化

地震災害の防止・軽減を図るため、東海地震等の地震・津波に関する防災情報を迅速かつ的確に提供する地震活動等総合監視システムの改良更新を行うとともに、東南海・南海地震の発生メカニズムの解明に資する地殻変動観測等を強化する。

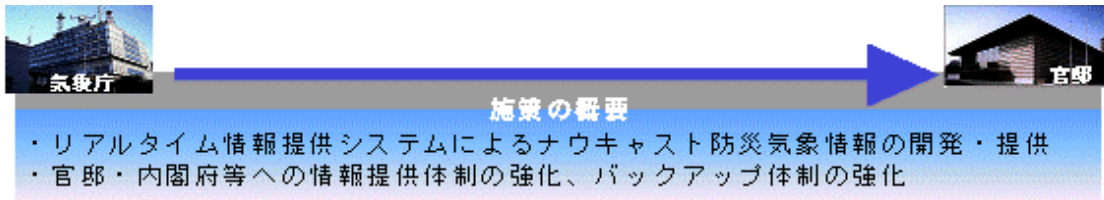
### 3. 省庁統合の実をあげる情報防災の推進

防災関係機関をはじめ広く一般の国民が、わかりやすい気象災害情報を手軽に入手し、活用することができるように「防災情報提供センター(仮称)」を設け、気象や災害などに関する情報をITを活用して集約し提供する。

### 4. 気候変動・地球環境対策の強化

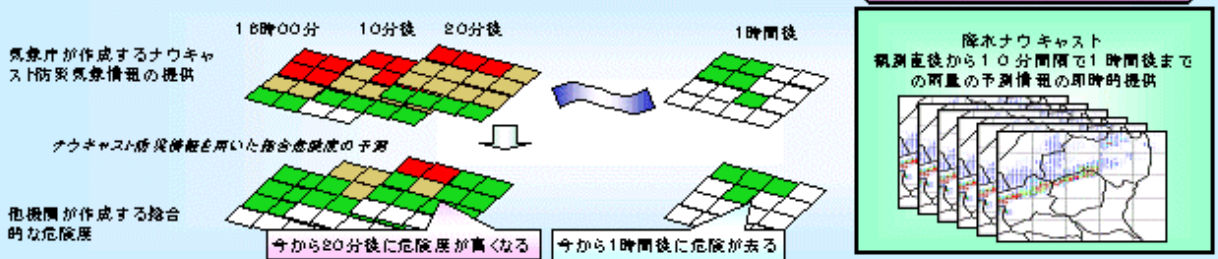
地球温暖化などの気候変動・地球環境問題に対応するため、海面上昇の監視体制を強化するとともに、地球温暖化予測技術の高度化等を推進する。

	(前年度予算)	
	百万円	百万円
① 1. 台風・豪雨等観測予報業務の強化	50	
(1) 大規模自然災害に備えた初動・危機管理対応の強化	5,274	( 3,972)
・リアルタイム情報提供システムの整備等	1,792	( 0)



- ナウキャスト防災情報の提供による、官邸における迅速な防災体制の立ち上げ
- 政府全体としての最新気象情報の共有化による、適切な防災対応の支援

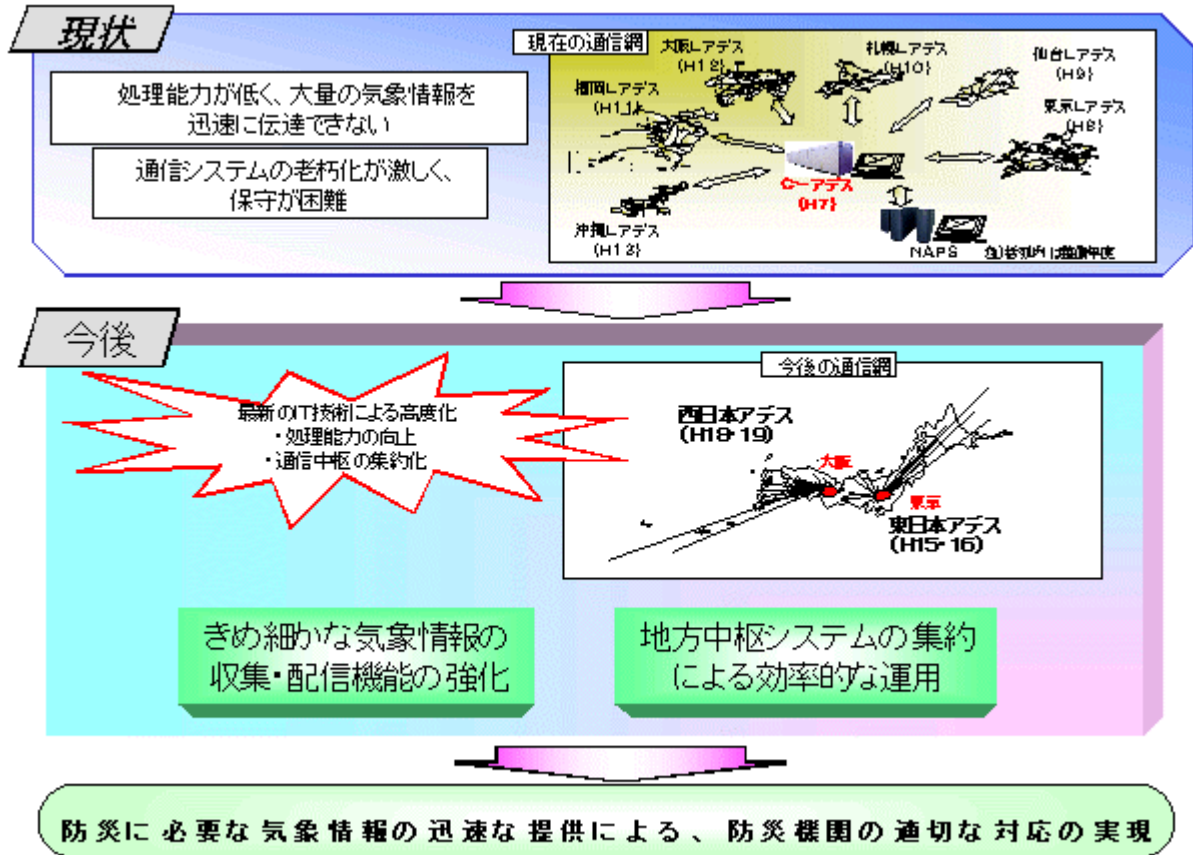
ナウキャスト防災気象情報の防災への利用例(リアルタイムハザードマップへの利用)



迅速・確実な防災情報提供による、政府全体の防災体制の強化を通じた台風被害等自然災害による被害の軽減

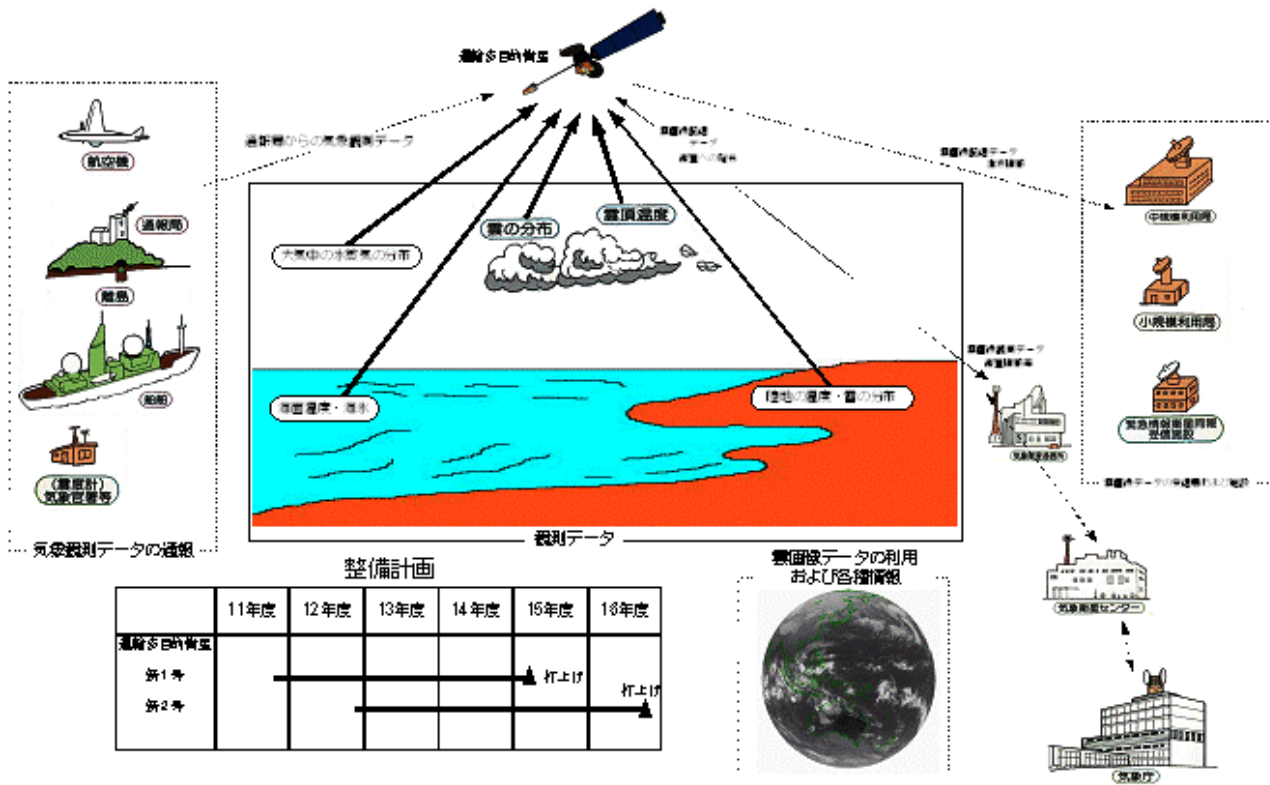
	百万円	(前年度予算) 百万円
(2) 気象情報の収集・配信機能の高度化(東日本アデスの整備)	50	
	0	( 0 )

債

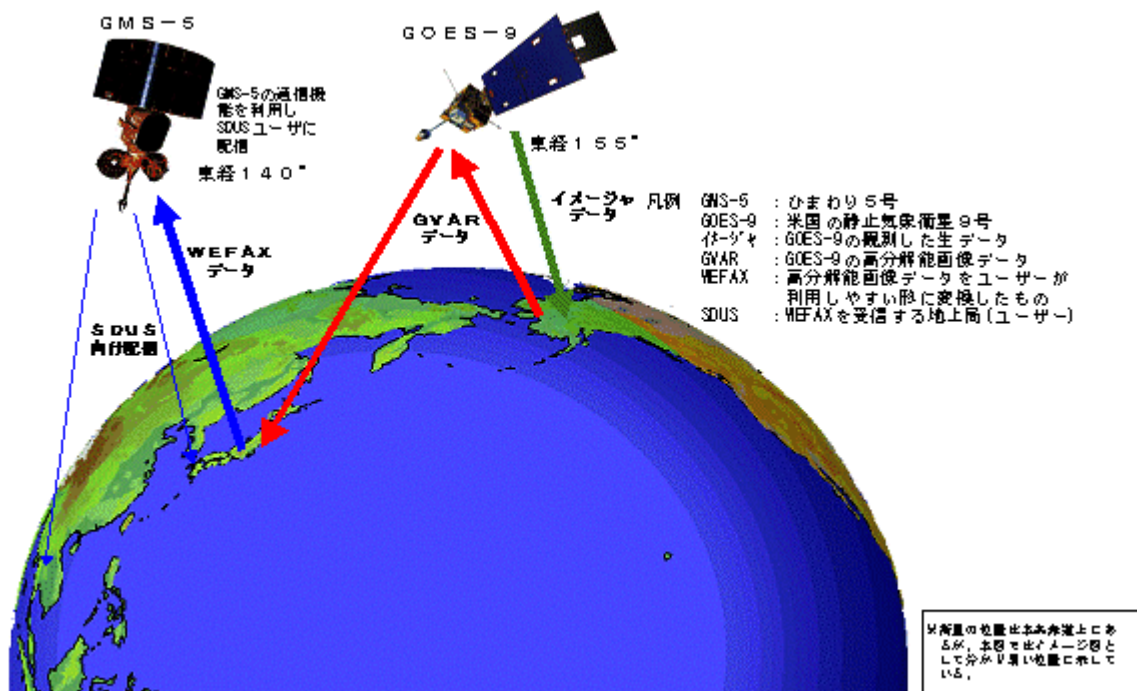


	(前年度予算)	
	百万円	百万円
(3) 静止気象衛星(運輸多目的衛星)の整備	3,321	( 3,483)
・運輸多目的衛星新1号の整備	1,015	( 2,525)
・運輸多目的衛星新2号の整備	2,306	( 958)
(4) 静止気象衛星(GOES)利用システムの整備等	161	( 489)

運輸多目的衛星による静止気象衛星システム概念図



GOES-9によるひまわり5号のバックアップイメージ





(前年度予算)  
百万円 百万円

## 2. 地震対策の強化

東海地震等地震津波監視体制の強化

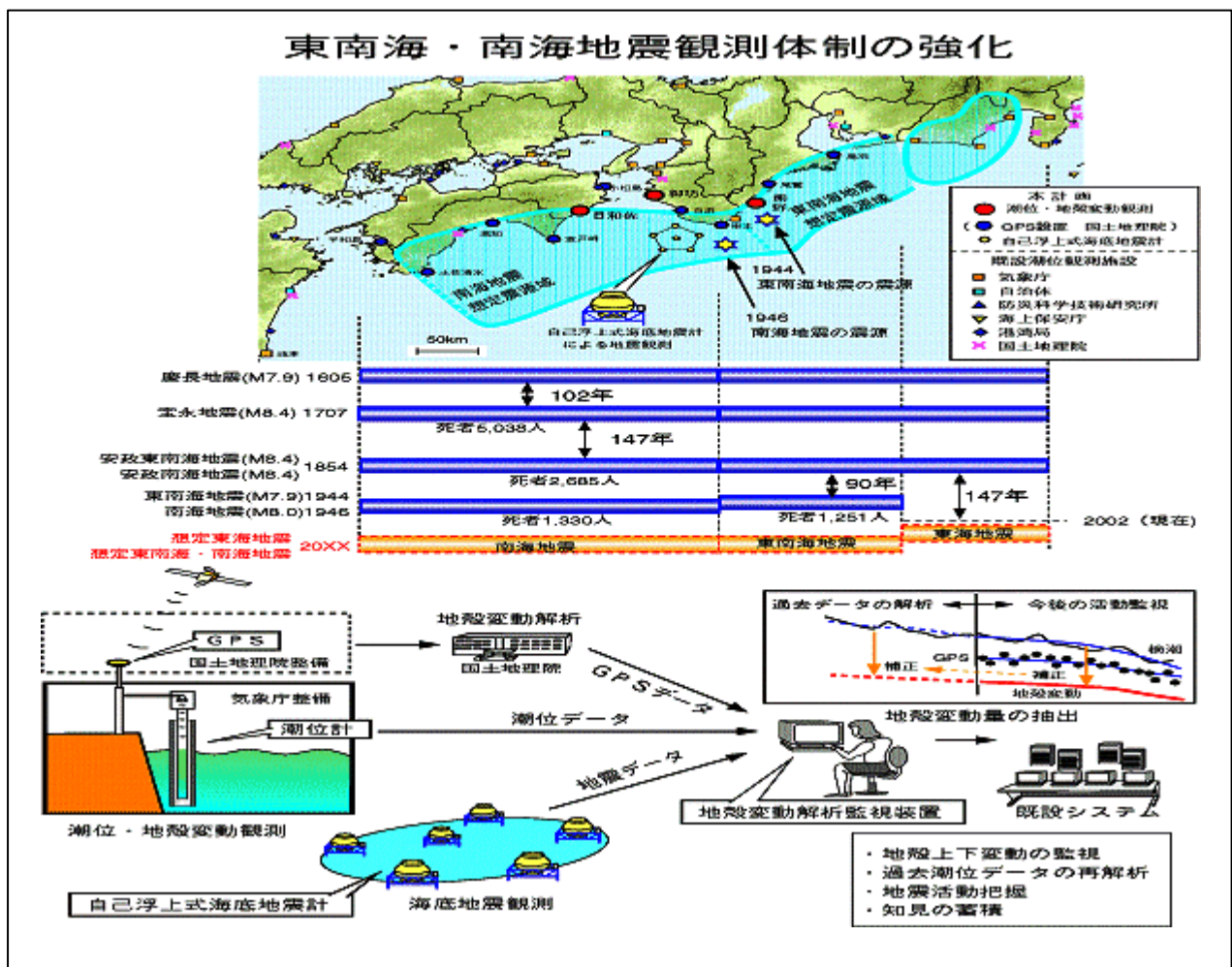
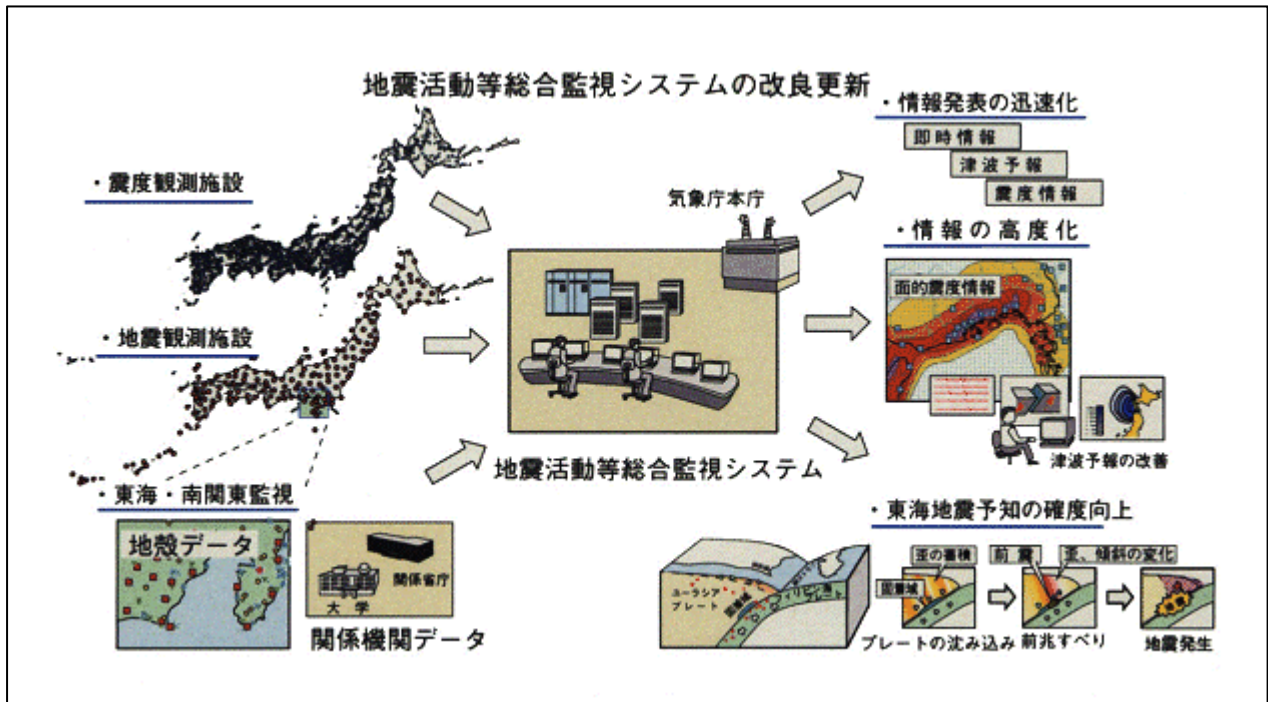
(1) 地震活動等総合監視システムの改良更新

(2) 東南海・南海地震観測体制の強化

500 ( 0)

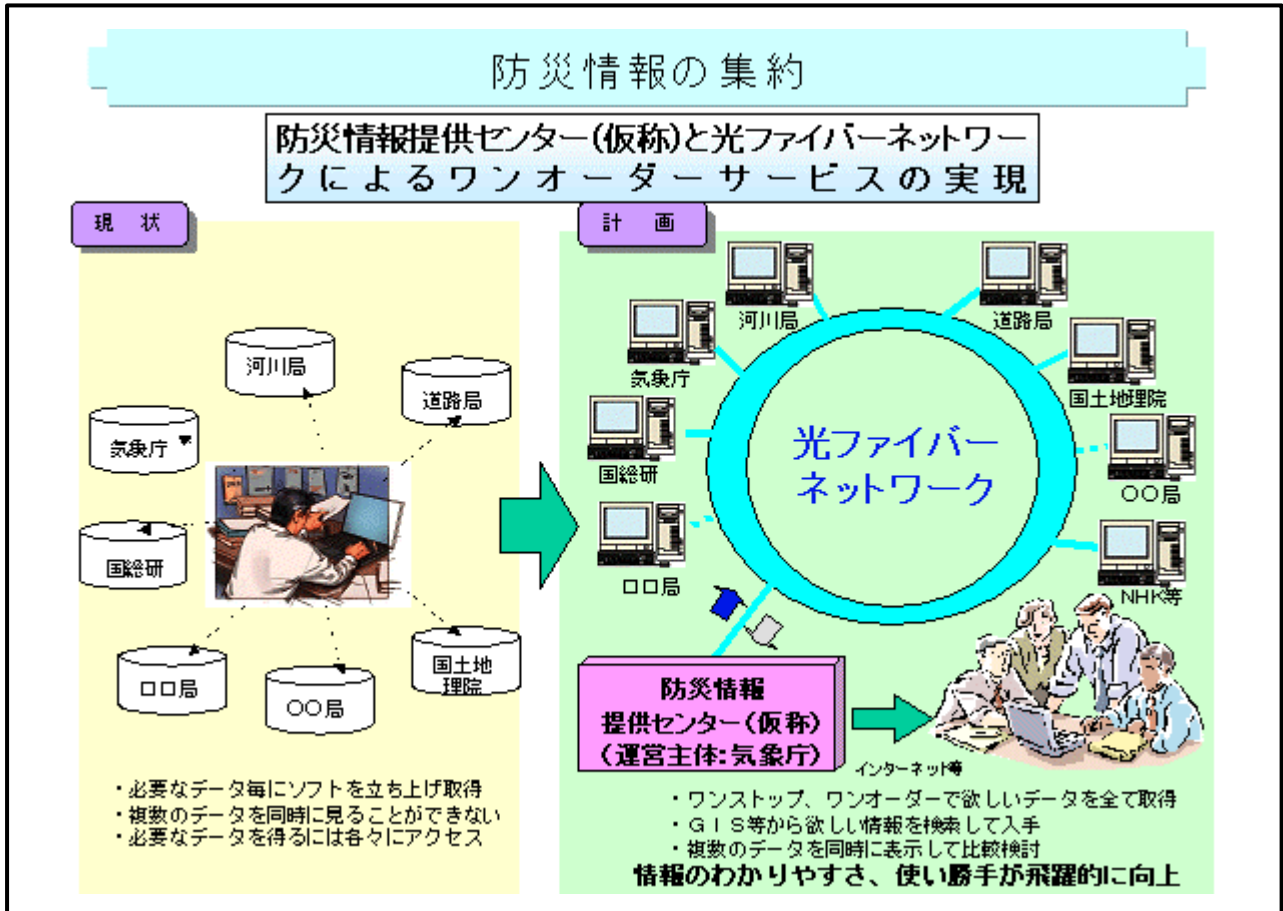
349 ( 0)

151 ( 0)

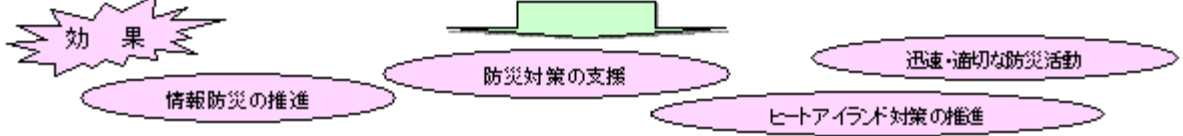
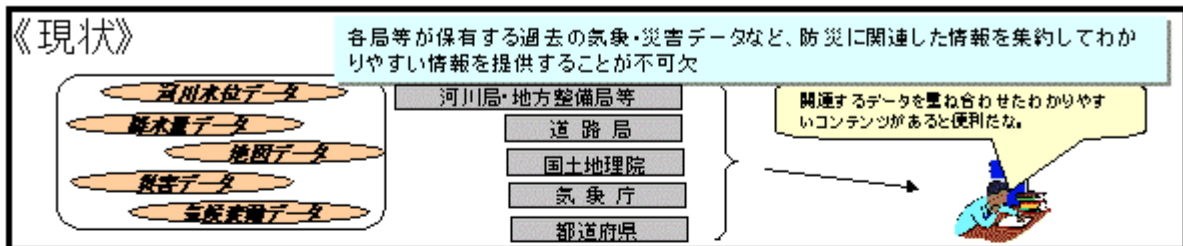


3. 省庁統合の実をあげる情報防災の推進  
・防災情報提供センター(仮称)の整備

108 ( 0 )



### 防災情報提供センター(仮称)のイメージ



(前年度予算)  
百万円 百万円

4. 気候変動・地球環境対策の強化	149	( 31)
(1) 地球温暖化に伴う海面上昇監視体制の強化	104	( 0)
(2) 黄砂に関する情報の提供	14	( 0)
(3) 気候変動予測研究	31	( 31)

